

# 平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館施設維持管理				整理番号	865		枝番号						
担当部課名		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	920				
係名				管理係				上位施策名			No				
予算事業名				図書館維持管理		コード	83100		図書館サービスの充実			63			
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		57年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第2項								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 図書館法第2条、第3条、第10条								
	図書館利用者				(3) 杉並区立図書館条例、同運営規則										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				図書館の施設維持管理、電子計算機の維持管理を通じて、図書館利用者の利便性の向上を図る。								事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		快適で利便性が高い図書館施設の維持管理を確保し、図書館利用者に対してよりよい環境を提供する。
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
(1) 図書館年間開館日数(11館累計)				(1) 図書館年間利用者数											
(2) ホームページ稼働日数				(2) ホームページアクセス件数											
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%					
					計画	実績		17年度							
指標	活動指標(1)		日	3,150	3,176	3,229	3,230	3,257	3,649	88.5					
	活動指標(2)		日	151	364	365	365	364	364	100.3					
	成果指標(1)		人	2,607,907	2,616,056	2,659,712	2,637,658	2,659,707	2,831,000	93.2					
	成果指標(2)		件	56,557	287,228	500,000	477,890	500,000	500,000	96					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	395,972	352,466	382,959	338,980	376,935	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) ・ホームページは、平成13年11月より開設 ・活動指標(1)の開館日数は「ふれあい図書室」の開室日数を除く。						
	(内)委託費		千円	132,849	119,483	122,074	106,175	123,345							
	職員数(正規   非常勤)		人	3.20   0.00	3.20   0.00	3.20   0.00	3.44   0.00	3.20   0.00							
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	28,781	28,781	28,781	30,937				28,781			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0			
	総事業費 + +		千円	424,753	381,247	411,740	369,917	405,716							
	単位あたりコスト ÷		円	134,842	120,040	127,513	114,525	124,567							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0				0			
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0				0			
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0			
差引:一般財源 -		千円	424,753	381,247	411,740	369,917	405,716								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	88.5	節電を推進して光熱水費を1,490千円節減した。また、施設保守管理委託も13,308千円削減した。						
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)															

## 平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成14年、祝日法に規定する休日が月曜日にあたることを開館することとし、平成15年には年末を12月30日まで開館することとした。また、平成16年度からは、中央図書館を原則通年開館とし、地域館を月曜休館と金曜休館の2グループに分けた。</li> <li>平成13年度、図書館ホームページを開設し、平成14年10月よりインターネットによる予約サービスを開始したことで、予約件数とともに貸出し件数も増えてきた。</li> </ul>
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域館の通年開館と日曜・祝日の開館時間の延長。</li> <li>利用者用インターネットPCの設置。</li> </ul>
	今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者ニーズに応えた開館時間の見直しが求められる。</li> <li>IT(情報技術)の急速な普及により、インターネットを利用した情報発信や情報提供等、新たな図書館サービスの提供が必要とされる。</li> </ul>

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか		理由: ・施設維持を適正に行うことで、開館日の拡大等を行ってきた。 ・インターネットサービスを開始したことによって、24時間・365日のサービスを実施している。
	貢献度 大(理由 )		
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は		
	行政が主体、NPO・企業等が協力( ^ )		
	協働等は実現しているか		
	一部実現している( ^ )		
協働等の相手		理由または具体的内容: ・施設保守管理については、民間に委託している。 ・電子計算組織の管理については、次期入替え時にシステムの設置、及び運用を全面的に民間に委託する計画。	
企業・個人事業者( ^ )			
協働等の主な形態			
委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )			
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか			
できない(理由 )		理由または具体的内容: ・施設等の現状保全にかかる経費の為。	
成果向上のための方策			
(4) 受益者負担の見直し余地は		理由または具体的内容: 多目的室の目的外利用による使用料の徴収。	
ある(具体的内容 )			
(5) コストを下げる余地はあるか		理由または具体的内容: 電子計算組織の管理と運用を民間に委託することで人件費等のコスト削減が可能。	
ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )			

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減    成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減    協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・電子計算機(図書館システム)の管理については、次期入替え時に機器の設置、及び運用を全面的に民間に委託する計画。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 ・電子計算組織の入替えの為(単年度経費)。

## 平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館運営奉仕活動				整理番号	866		枝番号	920			
担当部課名		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	921		
係名				管理係				上位施策名		No			
予算事業名				図書館運営管理		コード	82360		図書館サービスの充実		63		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				57年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第2項								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 図書館法第2条、第3条、第10条								
	図書館利用者				杉並区立図書館条例、同運営規則								
	図書館利用者				(3)								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）									
リクエストサービス、他自治体との相互貸出し、学校等への団体貸出しを行うとともに、映画会やお話会等を実施し、利用者へ図書館サービスを提供している。				各図書館サービスを行うことで図書館利用者の拡大を図る。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 図書館年間開館日数(11累計)				(1) 図書館年間利用者数									
(2) 登録者数				(2) 貸出し冊数									
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値		目標値に対する15年度の達成率%
							計画	実績	計画	17年度			
指標	活動指標(1)		日	3,150	3,176	3,229	3,230	3,257	3,649	88.5			
	活動指標(2)		人	129,329	124,904	130,000	125,031	135,000	140,000	89.3			
	成果指標(1)		人	2,607,907	2,616,056	2,659,712	2,637,658	2,659,707	2,831,000	93.2			
	成果指標(2)		冊	3,703,317	3,756,861	3,819,554	3,890,916	3,923,441	4,395,651	88.5			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	25,721	24,906	28,984	24,858	31,307	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) * 15年度実施した「個別外部監査」で指摘をうけたため、対象事務を見直した。(図書館活動のみから運営管理、貸出業務を含めた範囲とした)				
	(内)委託費		千円	408	423	459	423	559					
	職員数(正規   非常勤)		人	130.52   32.00	126.46   37.00	126.54   36.00	132.80   35.58	126.09   34.50					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,173,897	1,137,381	1,138,101	1,194,403					1,134,053
		非常勤職員分		千円	88,288	102,083	99,324	98,165					95,186
	総事業費 + +		千円	1,287,906	1,264,370	1,266,409	1,317,426	1,260,546					
	単位あたりコスト ÷		円	408,859	398,101	392,199	407,872	387,027					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0					0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0					0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0					0
差引:一般財源 -		千円	1,287,906	1,264,370	1,266,409	1,317,426	1,260,546						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%		100.0		活動指標(2)の15年度達成率%		96.2		15年度予算執行率%		85.8	
		15年度、需要費(一般事務用品)の節減に努めた。											
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)													

## 平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	リクエストサービス、団体サービス等の利用が、年々増加してきている。また、図書館活動としては、開始当初から、おはなし会・映画会・講座・講演会等の実施に努め、新たな利用者の拡充に努めてきた。 (なお、平成15年度の個別外部監査の指摘に基づき、今年度より従来の行事・講演会等のほかに運営管理、貸出業務も含めた評価表とした。)	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	通年開館や開館時間の延長。 貸出し制限数を無制限にして欲しい。	
	今後の予測	地域図書館の通年開館や開館時間の延長。 図書館未整備地域における、貸出し返却業務に特化した窓口の設置。 関係機関(区民センター等の区施設や区内大学図書館等)との連携の強化。 インターネットからのリクエスト受付件数の増。	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 ) <input type="button" value="▼"/>		理由: 子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけるため、読書活動を通じて貢献している。また、区民の生涯学習の支援を行う上で、図書館の存在意義は大きい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力( ^ ) <input type="button" value="▼"/>		理由:
	協働等は実現しているか 実現していないが今後可能性がある(具体的内容 ) <input type="button" value="▼"/>		理由または具体的内容: 図書館運営について法人等に委託。
	協働等の相手 <input type="button" value="▼"/>		
	協働等の主な形態 <input type="button" value="▼"/>		
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) <input type="button" value="▼"/>		理由または具体的内容: 図書館運営について法人等への委託を進めるとともに開館日の拡大を図る。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 ) <input type="button" value="▼"/>			
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 ) <input type="button" value="▼"/>		理由または具体的内容: 受益者負担については、図書館法第17条により、公立図書館における入館料等の無料が規定されている。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 ) <input type="button" value="▼"/>		理由または具体的内容: 運営については、法人等への委託。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減                      成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減                      協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 図書館運営について法人等への委託を進め人件費の抑制を図り、図書館運営費の総枠内で、新たな図書館サービスを実現していく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 来年実施予定の地域図書館の通年開館では経費が増となるが、17年11月、開館予定の(仮称)方南図書館及び既存の地域館1館を法人等に委託することで運営費を抑える。

# 平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館建設				整理番号	867		枝番号			
担当部課名	中央図書館			コード	620131	連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号			
係名	地域図書館開設準備担当				上位施策名				No			
予算事業名	図書館建設			コード	83250	図書館サービスの充実			63			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 15年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 図書館法							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 図書館未整備地域の区民、保育園、小学校、中学校				(2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 杉並区基本計画に基づき、地域図書館未整備地域の 方南地域に図書館を建設する 平成15年度設計 平成16～17年度建設 平成17年度開館予定				(3) 東京都杉並区立図書館条例							
	活動指標名(式)				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）							
(1) 建設にかかる基本設計、実施設計 (2) 建設工事				図書館未整備地域の区民、保育園、小学校、中学校等が、 十分な図書館サービスの供給を受けられる。 敷地を有効に利用するため、保育園との併設施設とする。								
成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				(1) (2)								
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
							計画	実績		17年度		
指標	活動指標(1)		式	0	0	1	1	0	0			
	活動指標(2)		式	0	0	1	1	1	1	100.0		
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	0	17,560	11,935	178,473	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成15年度は、住民説明会、地盤調査、設計、既存建物解体を行った 建設工事は、16年度～17年度の予定 保育園(民間による運営)との併設施設として建設する			
	(内)委託費		千円	0	0	17,310	11,827	135,114				
	職員数(正規   非常勤)		人	0.00   0.00	0.00   0.00	1.56   0.00	1.68   0.00	1.56   0.00				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	14,031	15,110				14,031
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 ++		千円	0	0	31,591	27,045	192,504				
	単位あたりコスト ÷		円			31,591,000	27,045,000					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0				0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0				0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	0	0	31,591	27,045	192,504					
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	68.0	設計・測量等予定していた経費より落札金額が下回ったが、平成15年度に予定していた測量・地盤調査・設計・解体工事は全て年度内に完了した。				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		方南地域の図書館建設は、平成15年度より建設事業を開始した。										

## 平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区実施計画に基づき、1地域に2館の、図書館14館体制を整備するため、未整備地域に地域図書館を建設する。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	当初予定していた延床面積が狭い等との要望が住民説明会等で出された。より多くの要望を取り入れられるよう検討した結果、床面積を拡大し、多目的室等を増設した。
	今後の予測	杉並区実施計画に基づき、1地域に2館の図書館14館体制を整備するため、今後未整備地域に2館の地域館図書館建設を計画している。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	図書館未整備地域に建設することにより、その地域の住民や利用者への図書館サービスが向上する。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力( ^ )	理由: 建設については、各専門企業に委託している。
	協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	理由: 建設については、建築、電気、機械、等各専門企業に委託し実施している。
	協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 )	理由または具体的内容: 住民説明会で出された要望については、出来る限り反映をして設計を行った。保育園との併設施設という制約もあり、これ以上の変更は困難である。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由: 区立図書館の建設なので、図書館法に基づき区が設置する。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 現状では困難。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成16年度～平成17年度に建設工事を行い、17年度に開館を予定している。 方南地域での図書館建設は完了する。未整備地域の2館について今後建設を予定している。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由 平成17年7月 工事竣工予定      10月併設保育園開所      11月方南地域図書館開館予定		

# 平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館協議会運営				整理番号	868		枝番号							
担当部課名		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	922					
係名				管理係		上位施策名				No						
予算事業名				図書館運営管理		コード	82360		図書館サービスの充実			63				
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		57年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第2項									
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区教育委員会が委嘱した委員組織。		(2) 図書館法第14条 杉並区立図書館条例、同運営規則									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区立図書館の運営に関し、中央図書館長の諮問に応じるとともに、図書館奉仕について、中央図書館長に対して意見を述べる。								事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 住民の代表である図書館協議会委員の意見を取り入れた図書館サービスを展開することによって、住民に身近な図書館を目指す。			
	活動指標名(式)				(1) 開催予定回数 (2) 諮問数								成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 実際の開催数 (2) 答申数			
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度計画		15年度実績		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
												17年度				
指標	活動指標(1)		回	5		6		5		6		5	5		120.0	
	活動指標(2)		本	0		1		1		1		1	1		100.0	
	成果指標(1)		回	5		6		5		6		5	5		120.0	
	成果指標(2)		本	0		1		1		0		2	2		0.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	504		576		480		516		480		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0				
	職員数(正規   非常勤)		人	0.18	0.00	0.21	0.00	0.21	0.00	0.25	0.00	0.21	0.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,619		1,889		1,889		2,212		1,889			
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0			
	総事業費 ++		千円	2,123		2,465		2,369		2,728		2,369				
	単位あたりコスト ÷		円	424,600		410,833		473,800		454,667		473,800				
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0			
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0			
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	2,123		2,465		2,369		2,728		2,369					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%		120.0		活動指標(2)の15年度達成率%		100.0		15年度予算執行率%		107.5			
			当初5回の開催を計画していたが、(仮称)方南図書館の基本計画について意見が多く出され6回開催となった。													
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			平成14年9月以降、委員を10名から8名にして開催している。													

## 平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	発足当初、図書館のサービス等の協議が中心であったが、今日は、情報化・CS(住民満足度)等新たなニーズに対する図書館サービス展開や図書館運営等についての協議・検討が中心となってきた。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし
	今後の予測	時代に対応した新たな図書館サービスの展開を図っていく上で、今後、更に活発なる協議会運営が必要とされる。また、自治基本条例施行に伴い、今後は一般公募による委員の選出が求められる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 幅広く意見等を受けることにより、区民に開かれたより良い図書館運営に反映されている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力( ^ )	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	杉並区内に設置された学校が推薦した当該学校の代表者、杉並区内に事務所を有する社会教育関係団体が推薦した当該団体の代表者、杉並区社会教育委員、学識経験者で構成されており、幅広い意見を出していただいている。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	
	協働等の主な形態 実行委員会・協議会(具体的内容 )	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	理由または具体的内容: 委員の一般公募。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 委員報酬は、「杉並区附属機関の構成員の報酬及び費用弁償に関する条例」で定められており、見直し余地はない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 委員報酬は、「杉並区附属機関の構成員の報酬及び費用弁償に関する条例」で定められており、見直し余地はない。また、開催数、委員数についても現状が妥当であるとする。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 委員委嘱にあたり、区民からの一般公募も含め、委員構成の見直しを検討する必要がある。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 委員構成の見直しを検討するが、開催数及び委員数については現状が妥当と考える。						



# 平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		閲覧用図書の収集及び装備				整理番号	869		枝番号	
担当部課名 中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	923/924	
係名 資料係		上位施策名			No					
予算事業名 図書館運営管理		コード	82360		図書館サービスの充実			63		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		25 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第2項							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 図書館法第3条							
	図書等資料		杉並区立図書館条例、同運営規則							
	図書等資料		(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
区民在住・在勤・在学者の学習・文化要求に応えるため、図書資料を幅広く豊富に収集する。 また、この資料が長期に渡り利用されるようにビニールカバーを貼る作業(装備)を行う。		幅広い分野の資料を収集・保存することにより、利用者の満足度の向上を図る。								
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 閲覧用図書の収集(購入冊数)		(1) 全蔵書冊数 ÷ 利用登録者数								
(2) 購入タイトル数		(2) 当該年度出版タイトル数 ÷ 購入タイトル数								
指標	区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		22年度		
	活動指標(1)	冊	91,470	88,661	89,914	91,496	89,914	105,316	86.9	
	活動指標(2)	件	23,520	19,665	24,000	21,446	24,000	25,000	85.8	
成果指標(1)	冊	14.42	15.60		15.45		18	85.8		
成果指標(2)	%	33.10	34.10		28.40		60	47.3		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	206,569	195,465	198,603	195,271	198,603	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) * 14年度よりCD資料購入を停止したため「視聴覚資料の収集及び装備」を「閲覧用図書の収集及び装備」の評価表に統合した。 * 職員数には地域館職員の「図書の選定及び収集」事務の従事職員も含む。	
	(内)委託費		千円	22,428	23,422	21,610	23,488	21,610		
	職員数(正規   非常勤)		人	22.53   1.00	22.13   1.00	21.39   1.00	21.39   1.00	21.96   1.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	202,635	199,037	192,382	192,382	197,508		
		非常勤職員分	千円	2,759	2,759	2,759	2,759	2,759		
	総事業費 ++		千円	411,963	397,261	393,744	390,412	398,870		
	単位あたりコスト ÷		円	4,504	4,481	4,379	4,267	4,436		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0		0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引: 一般財源 -		千円	411,963	397,261	393,744	390,412	398,870			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	101.8		活動指標(2)の15年度達成率%	89.4		15年度予算執行率%	98.3	
		収集及び保存(装備)においては、いずれも目標を達成している。								
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		図書購入と装備のあり方、作業手順の見直しを検討した。								

## 平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	出版点数の大幅な増加で資料収集の対象は増大しているが、単価アップや予算削減により、収集できるタイトル数は伸び悩んでいる。また本にビニールシートを貼る装備の作業については昭和59年の電算オンライン全面移動に伴い、民間業者に委託し人員削減を図った。平成13年度からは一部をシルバー人材センターに委託することにより経費の削減に努めている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	新刊本をもっとたくさん、購入してほしい。 リクエストの多い図書について、複本を増やしてほしい。
	今後の予測	出版物のタイトル数は、ここ10年間で50%以上増加している。こうした状況の中、辞書や百科事典等の一部は電子出版物としてCD-ROMやDVDで出版されている。こういった、本のデジタル化は、増加傾向にある。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由：成果指標の数値は充分であるとは言えないが、館自体の選書は勿論のこと、リクエスト対応にも力をいれている。また装備をすることにより多くの区民の使用や長期保存に耐える資料となっており、利用者への貢献度は高い。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由 )	理由：資料収集は、図書館の責務であると考えます。ただし、装備は民間に委託して、実施している。
	協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	理由または具体的内容：図書の装備
	協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	理由または具体的内容： 図書を装備込みでの購入に切り替え人件費および装備費の削減を図り資料の購入費率を上げるよう検討する。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由：受益者負担については、図書館法第17条により、公立図書館における入館料等の無料が規定されている。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由：図書購入と装備方法の抜本的見直し。ただし見直しは、電算システムの大規模な改正を伴うので、電算システムの次期入替に合わせて行う。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等： <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 資料購入方法や作業手順の見直しを継続して行い、図書購入と装備のあり方を抜本的に見直し事務の効率化を図ることにより資料費の捻出に努める。 また、今後の資料収集については、資料のデジタル化についても視野に入れハード面の準備を踏まえて検討していく。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	図書資料の収集状況は現在年間出版点数の30%程度である。これは図書の出版点数が増加していることが大きな要因になっているためであり、図書の購入タイトル数を増やすことにより解決するものではない。「これからの図書館運営のあり方」で総額の枠内での運営が提起されているため現在の予算の範囲内で選書の充実を努力する。	



## 平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	少子化により児童生徒数は減少傾向にあるが、移動教室実施回数は、心障学級等の参加もあり増加した。Ex: 参加児童生徒数 昭和55年度 17,161人 平成15年度 7,989人 校外施設の廃止により、小学校移動教室は平成14年度から民営化された2施設(富士学園・弓ヶ浜クラブ)、中学校移動教室は15年度から菅高原エリアの民間宿泊施設を利用し、移動教室を実施している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	2校合同実施よりも異学年合同実施校を拡充してほしい(小学校) 中日(2日目)もバスを借上げてほしい(小学校) 保護者負担金を増やさないでほしい(杉中P協) といった意見がでている。
	今後の予測	中学校については、特色ある学校づくりという観点で平成18年度から、内容及び実施場所を各学校が自主的に選択する学校独自の移動教室とする予定である。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか	貢献度 大(理由 ) <input type="button" value="▼"/>	理由: 自然体験学習など校外学習の重要性は高まっている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は	行政が自ら実施(理由 ) <input type="button" value="▼"/>  協働等は実現しているか <input type="button" value="▼"/>  協働等の相手 <input type="button" value="▼"/>  協働等の主な形態 <input type="button" value="▼"/>	理由: 校外施設廃止により発生した、参加する児童生徒にかかる宿泊料を、施設廃止以前の負担金と同等の金額とするための補助的な性質であり、NPO等が保護者負担金を軽減するため補助金を支出することは難しいと思われる。また、移動教室は教育課程の一環として位置付けられている学校行事である。 理由または具体的内容:
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか	できる( へ ) <input type="button" value="▼"/>  成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 ) <input type="button" value="▼"/>	理由または具体的内容: 各学校で自主性に基づき移動教室を実施することで、各学校ごとに特色ある内容となり、また、各学校の実情により即した内容とすることができる。ただし、それに伴って経費が増大する可能性もある。
	(4) 受益者負担の見直し余地は	ない(理由 ) <input type="button" value="▼"/>	理由または具体的内容: 校外施設の廃止に伴う移動教室実施方法の変更の際に、保護者負担を廃園時の水準と同等とした。今後、物価等の動向によって対応する。
	(5) コストを下げる余地はあるか	ある [手段・方法の変更] (具体的内容 ) <input type="button" value="▼"/>	理由または具体的内容:

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減                      成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減                      協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入
	移動教室は、既に宿泊施設を民営化するなど改革に取り組んで来ている。こうした中で小学校移動教室について、2校合同実施・異学年合同実施等を拡充し、移動教室実施期間を短縮させることにより、施設利用の効率化をより一層図って行く。また、小学校・中学校ともに、各学校が自主的に内容・実施場所を選択できるようにし、特色ある学校づくりを行うにあたっての材料となるようにする。
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	学校及び保護者の理解が必要となる。
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由	移動教室参加児童生徒数に大きな増減がない。また、一部中学校で特色ある移動教室を実施する予定であるが、公費補助の金額については、学務課主催の元で実施する学校と同等の金額としており、実施内容の違いによる金額の増減は生じない。

# 平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		園児募集			整理番号	772		枝番号	1		
担当部課名 教育委員会事務局学務課		コード	600301		連絡先電話番号	1624		昨年度整理番号	820		
係名 学事係		上位施策名					No				
予算事業名 幼稚園就園事務		コード	79800		学校教育の環境整備			56			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		44 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 学校教育法 78～80条								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立学校設置条例								
	区内に居住する4・5歳児(翌年度4歳児になる子を含む)		(3) 杉並区立学校の管理運営に関する規則 25条								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 区立幼稚園の園児募集に伴う入園選考、随時募集による入園受付、就園指導委員会の開催、就園奨励事業による入園料の還付		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 幼児教育の場を提供することにより、幼児の心身の発達を助長する。								
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 区立幼稚園園児数		(1) 定員充足率 = 入園児数(5月1日現在) ÷ 定員 × 100									
(2)		(2)									
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%
							計画	実績		21年度	
指標	活動指標(1)		人	626	591	768	552	768	768	71.9	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	70	71	100	72	100	100	72.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	942	786	1,097	829	1,055	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) (区立幼稚園の定員) ・13年度まで(7園):896人 ・14年度(7園):835人 ・15年度以降(6園):768人 14年度は方南・堀ノ内幼稚園の統廃合に伴い、両園の4歳児は1学級編制。方南幼稚園は14年度末に廃止。15年度以降は6園2学級編制。		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規   非常勤)		人	1.12	0.74	0.50	0.38	0.75			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	10,073	6,656	4,497	3,418	6,746		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	11,015	7,442	5,594	4,247	7,801			
	単位あたりコスト ÷		円	17,596	12,592	7,284	7,694	10,158			
	財源	受益者負担分		千円	1,002	966	1,164	1,080	1,041		
		国・都等からの支出金		千円	10	15	22	11	17		
		特定財源計 +		千円	1,012	981	1,186	1,091	1,058		
差引:一般財源 -		千円	10,003	6,461	4,408	3,156	6,743				
受益者負担比率 ÷		%	9.1	13.0	20.8	25.4	13.3				
15年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	71.9	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	75.6	少子化による幼児人口の減少および女性の就労率の増加などにより就園児数が減少したため。			
前年度の改革案の取り組み状況(16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成15年9月、幼小連携教育についての検討会設置。平成16年3月、杉並区立高円寺北幼稚園と杉並区立第四小学校の幼小連携教育の推進に向けて、モデル事業実施準備委員会が設置され、平成17年4月の移設を目指し、第1回準備委員会を開催。									

# 平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区立幼稚園は、昭和60年頃から定員に満たない園が出始め、平成7年には充足率53%になった。その後少しずつ増加、ここ数年は70%台を推移しているが、幼稚園相互間で定員充足率のアンバランスが続いている。また、多くの私立幼稚園も定員割れの状況が続き、平均すると70%の充足率である。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	「保育時間をもっと長くしてほしい。」「統廃合しないでほしい」という声がある。
	今後の予測	区立幼稚園の定員充足率は、経済の長期不況等の影響もあり、少子化の中にあっても、ほぼ横ばいで推移していく。一方、私立幼稚園の経営状況も厳しくなっている。保育ニーズの多様化や幼小連携、幼保一元化などの動向から、新たな幼児育成施策の構築及び区立幼稚園の果たす役割等の見直しが必要である。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	区として幼児教育の場を直接提供することは、区内における幼児教育の充実に結びついているが、区立は私立を補完するため設置されてきた経緯があり、区においては、私立幼稚園が幼児教育発展の大きな役割を担っている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由 )	区立幼稚園については一定の需要がある。廃止・転用等の検討を含めながらも、当面は私立を補完するということで、私立が取り込みにくい分野を担う役割を検討していくため、行政が自ら実施。義務教育以外の教育は民間参加が可能となってきたので、今後は検討の余地はある。
	協働等は実現しているか	理由または具体的内容:
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	理由または具体的内容:私立幼稚園との関係もあり、対象を広げる(3歳児保育の実施など)ことは困難。区立幼稚園で実施している子育て相談・未就園児の交流等の活動を拡充することで入園率をある程度上げることは可能。
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )		
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	保育料については、保育園保育料や私立幼稚園の状況等ふまえ、今後検討する。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	就園事務としては、効率化を進めており、現状では余地はない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 保育ニーズの多様化・幼小連携・幼保一元化等の動向を踏まえつつ、私立幼稚園が取り組みにくい分野を担うことを前提に、区立幼稚園の役割を検討・実施していく。			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民、区・私立幼稚園の理解を得ながら進めていく。国の幼保一元化の動向が不明確なため、方向性を見極める必要がある。			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由	区立幼稚園の定員充足率は、経済の長期不況等の影響もあり、少子化の中にあってもほぼ横ばいで推移している。		

# 平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館運営の調査研究・司書養成				整理番号	873		枝番号				
担当部課名		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	927		
係名				管理係				上位施策名		No			
予算事業名				図書館運営管理				コード	82360		図書館サービスの充実		
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		57年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第2項						
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 図書館法第14条						
	司書・司書補を養成するため、司書講習会に職員を派遣。				(3) 杉並区立図書館条例、同運営規則								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）								
図書館機能の一つであるレファレンス業務について、図書館職員が対応している為、司書・司書（補）の育成を行っている。				職員のスキルを向上させ、レファレンス機能の充実を図り、利用者が満足するサービスを提供する。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 司書・司書補養成者数				(1) 司書率(司書・司書補 ÷ 正規職員数)									
(2)				(2)									
区分	単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	17年度			
指標	活動指標(1)	人	5	4	3	4	3	3	3	133.3			
	活動指標(2)												
	成果指標(1)	%	41.6%	41.6%	43.1%	43.8%	40.3%						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	742	557	593	479	611	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0					
	職員数(正規   非常勤)		人	2.75   0.00	2.50   0.00	2.25   0.00	2.50   0.00	2.25   0.00					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	24,734	22,485	20,237	22,485					20,237
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0					0
	総事業費 + +		千円	25,476	23,042	20,830	22,964	20,848					
	単位あたりコスト ÷		円	5,095,200	5,760,500	6,943,333	5,741,000	6,949,333					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0					0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0					0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0					0
差引:一般財源 -		千円	25,476	23,042	20,830	22,964	20,848						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	133.3		活動指標(2)の15年度達成率%			15年度予算執行率%	80.8				
		15年度当初予算内で4名講習会に参加させ、司書(補)資格を習得した。											
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)													

## 平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	司書・司書補の養成を行ってきたため、司書率は40%強で推移している。また、平成15年度に調査相談係を新たに設け、職員のスキルアップを図るためのOJT等を行っている。また、16年3月から図書館ホームページからのレファレンスサービスを開始した。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	レファレンスサービスの充実は、図書館サービスの大きな柱と位置付けており、区民からも、レファレンスサービスの充実を求める要望が寄せられている。
	今後の予測	インターネットの利便性から今後、図書館ホームページからのレファレンス受付件数が増えていくことが見込める。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 司書資格の専門的職員の配置により、図書館利用者に対するレファレンス機能の充実を図っている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力( ^ )	理由:
	協働等は実現しているか 当面実現は困難である(理由 ) 協働等の相手 協働等の主な形態	理由または具体的内容: レファレンスサービスは図書館の責務であり、職員が対応する間は、司書養成については必要である。
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 司書講習会の受講が有料である為。
	(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 講習会を受講する職員の、一部負担も検討の余地はある。
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 専門職員数を維持するためには、現状の人事異動では講習受講以外に対応できない。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成17年度開館予定の(仮称)方南図書館と既存館1館について、17年度法人等に運営を委託する計画である。そのなかで専門的知識の人材を確保していく。		
17年度方針	(2) 理由 現状で司書率を維持していく為。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	



## 平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ブックスタート事業				整理番号	874		枝番号			
担当部課名		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	928	
係名				サービス係				上位施策名		No		
予算事業名				図書館運営管理		コード	82360		図書館サービスの充実		63	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 15年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 子どもの読書活動の推進に関する法律							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 4ヶ月児健診受診者(保護者)				(2) 杉並区子ども読書活動推進計画							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区内5保健センターで行われる4ヶ月児健診会場で保護者にブックスタートパックを個別に渡しながらかブックスタートのメッセージを伝える。				(3)							
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) ブックスタートパック配付数				(1) ブックスタートパック配付率								
(2)				(2)								
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績	計画		17年度			
指標	活動指標(1)		セット	3,481	3,920	3,441	3,700		3,600	95.6		
	活動指標(2)		人									
	成果指標(1)		%	89	100	88	100					
	成果指標(2)		%									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	6,146	7,660	6,579	7,321		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) *ブックスタート事業は平成14年度から本格実施。		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0				
	職員数(正規   非常勤)		人		3.00   0.00	3.00   0.00	2.90   0.00	2.80   0.00				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	26,982	26,982	26,083				25,183
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 + +		千円	0	33,128	34,642	32,662	32,504				
	単位あたりコスト ÷		円		9,517	8,837	9,492	8,785				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	0	33,128	34,642	32,662	32,504					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	87.8	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	85.9	15年度は延べ107人のボランティアの方に協力してもらい、3,441個のブックスタートパックを配付した。			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			ブックスタートパック詰めやパック配付をボランティアと協働で行っている。									

## 平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	ブックスタート事業は、平成14年に全国に先駆けて開始した事業で、本年度で3年目を迎える事業である。図書館でブックスタートのロゴ入りバッグを持った保護者と乳児を多く見かけられ、お話し会への幼児の参加も増えている。保護者の絵本やお話し会への関心が高まっていることが実感できる。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	良いことなので今後も続けて欲しい。もっと早くからあればよかった。これからは継続していくのが心配だ。若い両親を区がサポートすることは良いことだと思う。
	今後の予測	保護者と乳児が絵本を楽しむことを勧めるブックスタートのメッセージが広く一般家庭に浸透する。絵本を介して親子が触れ合うことが習慣になれば、子どもの心の成長に良い結果がもたらされる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: ブックスタート事業は保護者とあかちゃんに触れ合い温かい時間を持つ機会を増やすことから、子育て支援事業の一環としての役割を果たすと同時に、親子ともに読書に親しむ啓発の役割も果たしている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力( ^ )	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	理由または具体的内容: 健診会場で保護者に渡す絵本、資料等の袋詰や、会場での保護者への配布を職員とボランティアで行なっている。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	
	協働等の主な形態 事業協力(具体的内容 )	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 )	理由または具体的内容: 事業費が、ボランティア謝礼とブックスタートパック費であり、現行が妥当と考える。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: ブックスタートパックを配付する事により、保護者など身近な大人とあかちゃんが絵本を介して触れ合い温かい時間を持つ機会を増やすのが目的であるため。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: ブックスタートにかかる経費は必要最小限で行なっている。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ボランティアとの協働を進め、子育て支援の一環としての効果をさらにもたらすよう、現在とっている保健福祉部と中央図書館の連携を強化する。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ボランティアとの協働は定着してきているが、参加状況はまだ十分とはいえない。ブックスタートに賛同するボランティアが増えるように関連部所の協力を広く求める。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 区民からの評価も定着してきており現状維持が適当である。

# 平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館拠点サービス事業				整理番号	875		枝番号		
担当部課名	中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号		
係名	サービス係			上位施策名			No				
予算事業名	図書館運営管理		コード	82360		図書館サービスの充実			63		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成			10 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			(1) 杉並区立図書館運営規則							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			(2) 杉並区ふれあい図書室運営要綱							
	図書館利用者			(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区内の図書館未整備地域で、区立小学校・児童館の施設を利用して、ふれあい図書室を3ヶ所(方南、善福寺、馬橋)開設し、ボランティアとの協働により、毎週1回圖書の貸出と返却を実施している。			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 図書館未整備地域の住民に対し、図書館サービスを提供していく。							
活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 年間開設日数			(1) 年間利用者数								
(2)			(2) 年間貸出冊数								
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
				計画	実績		17年度	年度			
指標	活動指標(1)	日	143	146	150	146	150	200	73.0		
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	人	3,511	3,877	4,000	4,638	5,000	6,000	77.3		
	成果指標(2)	冊	10,334	12,160	14,000	15,587	16,000	17,000	91.7		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	0	1,360	275	1,519	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(正規   非常勤)		人	0.60   0.00	0.60   0.00	0.15   0.00	0.55   0.00	0.23   0.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,396	5,396	1,349	4,947	2,069			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	5,396	5,396	2,709	5,222	3,588			
	単位あたりコスト ÷		円	37,734	36,959	18,060	35,767	23,920			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	5,396	5,396	2,709	5,222	3,588				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	97.3		活動指標(2)の15年度達成率%			15年度予算執行率%	20.2		
		平成15年4月からボランティアを設置する計画であったが、ボランティア募集等の事前準備が遅れ、同年10月からの実施となった。									
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)											

## 平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	開設当初は職員2名で窓口業務に携わっていたが、平成15年10月のボランティア2名設置により職員は1名となった。また、それに伴い馬橋・方南ふれあい図書室の開設時間を半日から一日に延長した。なお、平成16年4月からはボランティア2名だけで窓口業務を行っている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	要望、苦情等は特に受けていない。
	今後の予測	未整備地域に図書館が開設することにより、ふれあい図書室は廃止となる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 開室時間が短い、図書館未整備地域の利用者にとっては、身近な施設として利便性はある。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力( ^ )	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	理由または具体的内容: 窓口運営として、図書の貸出・返却とリクエスト利用者登録の受付はボランティアが行い、リクエストと利用者登録の入力処理やポータブル端末等の搬送は職員が行っている。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	
	協働等の主な形態 事業協力(具体的内容 )	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 )	理由または具体的内容: ボランティアには半日1,100円の報償費を支出しているが、運営時間等の拡大を図るならば、ボランティア経費の増額が必要である。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 図書館法による「無料の原則」から困難である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 14館整備されるまでの事業であり、最小経費で運用しているため。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地域図書館の整備により、事業廃止する。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 未整備地域に図書館が開設される時期によって廃止の時期が左右される。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成17年11月の方南図書館開設に伴い、方南ふれあい図書室は廃止となるが、新たに和田集会所内に貸し出しコーナーを設置する。						